

POS データに基づいた カウンターシクリカルプライシングの分析

星野将孝* 阿部誠†

需要が高い時期に価格が下落するカウンターシクリカルプライシングという現象は、様々な財について観測されている。カウンターシクリカルプライシングの発生メカニズムに関する仮説を提案する先行研究の中には、後続研究で支持する結果と支持しない結果が報告されているものもあり、議論の余地がある。本研究は、SKU 単位の購買が記録された集計レベルの POS データを用い、カウンターシクリカルプライシングの発生メカニズムを提案する 4 つの仮説を検証した。その結果、商品数がカウンターシクリカルプライシングの発生に関わっていることが示唆された。マネジメント上の示唆として、製造業者による高需要期の高価格品の投入と、商品数の増加が提案される。

* 東京大学大学院経済学研究科、日本学術振興会特別研究員 DC

† 東京大学大学院経済学研究科